

鳩森だより 10月号

HATOMORI ELEMENTARY SCHOOL

TEL
(3352)3780

FAX
(3352)4810

ホームページ
<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/hatomorie>

【教育目標】
感じ かかわり つくる



渋谷区立鳩森小学校
令和3年9月30日

地域を愛する学校を目指して

校長 平野 真由美

鳩森小学校は9月7日で開校99年を迎えました。令和4年度は100周年になります。

子供たちには全校朝会で伝えましたが、鳩森小学校は大正11年(1922年)9月7日に東京府豊多摩郡千駄ヶ谷第三尋常小学校として現在の地に誕生しました。その記事が、「渋谷区教育史 上巻」(平成4年3月 東京都渋谷区教育委員会)にて確認できます。

千駄ヶ谷町(略)も人口の増加に比して学校の児童収容能力が追い付かず、新設するか、既存の学校を増築するかしなければならなかった。(略)しかし、新しく学校を開設するにしても、千駄ヶ谷町は他の二町より面積が狭く、新しい土地を求めることは困難であった。そこで町は、宮内省に陳情して御料地の一部の払い下げを受けることによって、千駄ヶ谷第三尋常小学校を建設する用地を確保することができた。(402ページ)

千駄ヶ谷尋常高等小学校から304名、千駄ヶ谷第二尋常小学校から308名の児童が参集して、千駄ヶ谷第三尋常小学校(現鳩森小学校)が開設されたのである。(403ページ)

鳩森小学校の歴史を調べる中、「渋谷区教育史 上巻」にあった以下の記述が心に残りました。

村に学校が設立されるようになってから、村の学校は村が支えていくという気風が興っていた。(略)このような意識は、明治時代をとおして強くあった。それが校舎建築に次ぐ建築の苦しい時期にあっても、村当局の対処はもちろんのこと、村人のこうした意識に基づく寄付行為に支えられて難事を克服してきたのであった。それは町になっても変わらなかった。「村の学校をよくしたい」「町の子どもたちに何とかしてやりたい」という思いが、校舎新築の一部費用、備品費、教材用具、植樹等の直接寄付行為として表出されるのであった。(196ページ)

今でこそ、学校は税金で運営され、学校を新設するにしても、改築するにしても、設置者となる地区の教育委員会が主体となって行われます。しかし、「子供たちのために学校をつくりたい」「子供たちのために学校をよくしたい」「子供たちのために何とかしてやりたい」という思いは今でも変わらずに受け継がれていると私は思います。

実際に、学校運営協議会や青少年対策千駄ヶ谷地区委員会、施設開放運営委員会で地域の方のお声を伺うと、皆さん鳩森小学校が大好きで、鳩森小学校のためにできることがあれば何でもしたいという熱い思いをおもちであることが分かります。地域の方の学校への思いは無条件であるようにも感じられますが、無条件だからといって甘えて、いただくばかりでは学校としては不十分です。

今はコロナ禍で、地域との交流は思うように進められませんが、学校を愛し、応援してくださる地域の存在は忘れたくありません。その思いと共鳴するように、渋谷区では今年度から「シブヤ科」が創設されました。本校の「シブヤ科」はまだまだ発展途上ですが、「シブヤ科」の学習を通して、地域を愛し、地域のために未来を創造できる子供たちを育てていきたいと思っています。

地域の皆様と共に鳩森小学校の100周年をお祝いできるよう、新型コロナウイルスの感染終息を願いつつ、これからの鳩森小学校を共に支えていただければ幸いです。

令和3年度運動会

～たくさんの応援をありがとうございました～



「最後まで心を一つに楽しむ運動会 限界を超えろ 全力で走りきれ!」のスローガンのもと、運動会当日まで練習を重ねてきました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限配慮し、感染拡大防止対策を施しながら、一生懸命に取り組んできました。



どの学年も精一杯に競技や演技を行いました。そして、その一つ一つに、惜しみない拍手を贈っていただきありがとうございました。全力を尽くし、仲間と心を合わせる心地よさから、どの子の表情も晴れやかでした。

学習室の窓から

算数少人数担当 竹野 圭介

ある日の授業で、「あなたはどちらのラーメン屋さんに行く？」という問いかけをしました。子供たちは直前に平均の学習をしていたため、インターネットの評価の平均値を求めて、「評価の高いお店を選ぶ。」と答えました。しかし、A店とB店のラーメン屋さんの評価の平均を求めると同じ「3.1」になりました。このとき、子供たちは何を根拠にして、どちらのラーメン屋さんに行くのか考えていくことになりました。

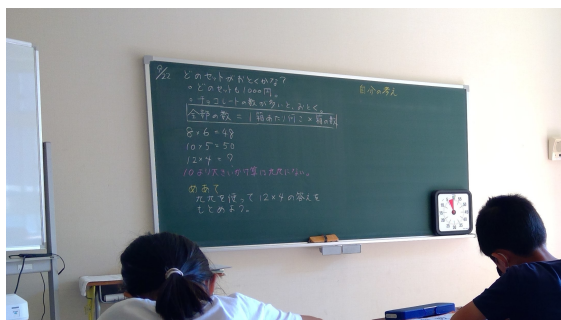
改めてそのデータを見てみると、そこには様々な情報が載っていることに気がきます。それを基に理由を考え、自分なりの答えを出していきます。ある子が「A店はほとんど同じ評価だから美味しさが安定していて、安心できる。」と話す、別の子は「同じような味でもう知っている味かもしれない。それなら評価が大きく分かっているB店の方が、もしかしたらずっと行きたくなる味に出会えるかもしれない。」と言いました。驚いたことに、全く同じデータから、全く異なる考え方が生まれていき、その反応も個性にあふれたものでした。

実は算数には、答えが一つとは限らない場合があります。算数少人数教室で私が心掛けていることは、「自分の考えをもつこと」と「それをみんなに伝えるように表現すること」です。答えが一つとも限らない、多様なこれからの時代を生きていくためにも、子供たちには自分の考えをしっかりともち、根拠をもって相手に伝えて学び合い、多角的に物事を捉え、新しい価値を生み出せるようになる必要があると考えています。

上の授業では、それぞれの子たちが同じ目的でないからこそ、自由な意見がたくさん生まれました。議論して様々な見方が増え、友達の考えを自分の考えに取り入れたりすることで、自分が変わり、リアルタイムで成長につながるところに、子供たちが学校で勉強することの楽しさがあると考えています。

算数少人数教室は、教室の雰囲気ともまた違った形で、楽しそうに学んで成長していく子供たちに支えられています。

3年生



4年生



5年生



6年生



10月の行事予定

日	曜	学 校 行 事 等	授業時数（委員会・クラブを含む）					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	平和国際都市渋谷の日 都民の日	/	/	/	/	/	/
2	土	鳩森薪能での連吟発表	/	/	/	/	/	/
3	日		/	/	/	/	/	/
4	月	4年自然体験教室開始	5	5	5	/	6	6
5	火	4年自然体験教室終了 歯みがき教室（1年）	5	6	6	/	6	6
6	水	前期終業式 日光事前健康診断（6年）	4	5	5	5	5	5
7	木	秋季休業日	/	/	/	/	/	/
8	金	秋季休業日 6年日光高原学園①	/	/	/	/	/	/
9	土	6年日光高原学園②	/	/	/	/	/	/
10	日	6年日光高原学園③	/	/	/	/	/	/
11	月	振替休業日（10月16日分）	/	/	/	/	/	/
12	火	後期始業式 クラブ活動（7校時） 読書月間開始（～11月5日）	5	6	6	7	7	7
13	水	縦	5	5	5	5	5	5
14	木	陸上教室（3・4校時5・6年） プラネタリウム（4年）	5	5	6	6	6	6
15	金	鳩 東京グローバルゲートウェイ（4年）	5	5	5	6	6	6
16	土	一斉授業日（公開なし）	3	3	3	3	3	3
17	日		/	/	/	/	/	/
18	月	朝	5	5	5	6	6	6
19	火	歯みがき教室（2年） 委員会活動（7校時）	5	6	6	7	7	7
20	水	音 視力検査（4～6年） 校内研究授業（3年）のため、他学年は下校 13：10	4	4	5	4	4	4
21	木	視力検査（1～3年、ちとはと） 自然体験教室（5年）	5	5	6	6	6	6
22	金	鳩	5	5	5	6	6	6
23	土		/	/	/	/	/	/
24	日		/	/	/	/	/	/
25	月	朝	5	5	5	6	6	6
26	火	避難訓練（2校時） 代表環境活動	5	6	6	7	7	7
27	水	朝 委員会発表	5	5	5	5	5	5
28	木	指 生け花教室	5	5	6	6	6	6
29	金	鳩 生活科見学（1・2年）	5	5	5	6	6	6
30	土	土曜日授業 道徳授業地区公開講座 2校時（4・5・6年） 3校時（1・2・3・ちとはと）	3	3	3	3	3	3
31	日		/	/	/	/	/	/

朝：全校朝会 指：安全指導 体：体育朝会
保：保健朝会 音：音楽朝会 鳩：鳩森タイム



読書月間 （10月12日～11月5日）

今年度の読書月間では、オンライン集会での「図書委員による読み聞かせ」や、「はともり文庫」掲示板に全校児童がおすすめの本を背表紙カードにして紹介する活動を予定しています。

また、給食でも絵本の内容にちなんだ献立も予定するなど、すすんで読書をしたくなる活動を企画しています。読書にはよい季節になりました。子供たちには、ますます本に親しんでほしいと思いま

交通安全について

東京都自転車安全利用条例では、自転車を運転する小学生（18歳未満）の保護者の方は、ヘルメットを着用させる努力義務が規定されています。

また、道路を横断する際には、必ずいったん立ち止まって安全を確かめてから横断するなど、御家庭で交通安全についてお子様と確認していただくようお願いいたします。

10月の保健目標

姿勢に気を付け、
目を大切にしよう